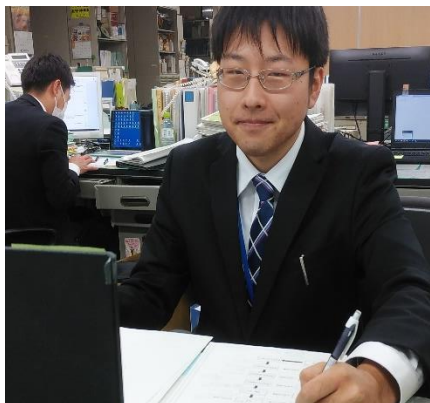


## 【化学】

### ◎主な配属先、業務内容

#### ■本庁

#### 安全環境部 環境政策課



- 水質汚濁・大気汚染の監視や緊急時の対応
- 環境影響評価の審査・指導
- 公害防止協定の締結

#### 安全環境部 循環社会推進課

- 廃棄物処理施設等の許可
- 産業廃棄物の不法投棄などの不適正処理に対する対策
- 事業者への指導



#### 産業労働部 産業技術課



- 産学官連携および科学技術振興のための企画調整・実施
- 県内企業の革新的な技術開発や製品開発等の支援（補助金等の交付）
- 県内企業の新規市場開拓や販路拡大の支援
- 県内公設試験研究機関の連携

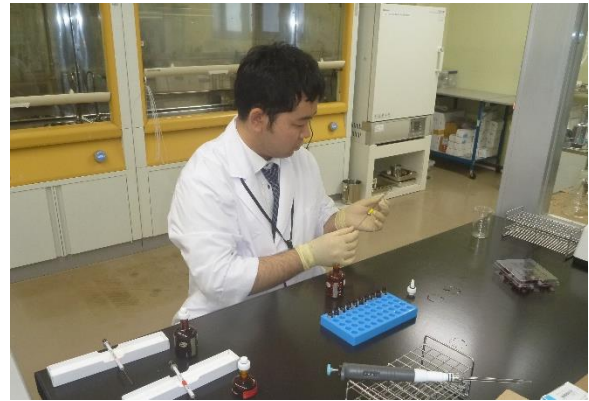
## 健康福祉センター



- 公害防止関係法令に基づく届出の審査・指導、工場・事業場への立入検査の実施
- 水質事故や光化学オキシダント注意報発令等の緊急時の対応

## 衛生環境研究センター

- 大気や河川・湖沼等水質の監視調査
- 工場排水や食品などの検査
- 環境や食品等に関する調査研究

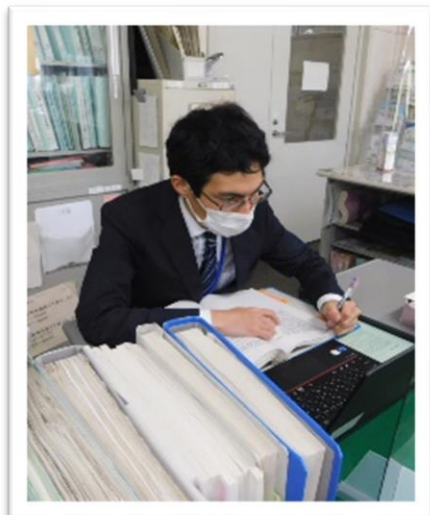


## 工業技術センター



- センターが保有する各種試験・検査機器を利用し、企業からの技術相談への対応、企業からの依頼による化学試験、物性試験、評価試験等を実施
- 地場産業を支援する研究機関として、繊維関連、プラスチック関連、漆器、和紙などの伝統工芸品関連の技術開発
- 航空機用炭素繊維素材やロボット、ヘルスケア分野など、先進、先端分野の技術開発を推進

## 【化学】令和2年度採用



丹南健康福祉センター

福井 理人

(福井大学 工学部生物応用化学科 卒業)



### 【主な担当業務】

- 公害防止関係法令に基づく届出の審査・指導、工場・事業場への立入検査の実施
- 水質事故や光化学オキシダントの注意報発令等の緊急時の対応
- 各種公害防止関係法令の施行状況調査への回答

### ◎ある一日のスケジュール

8:30 業務開始、メールチェック	9:00 行政検査のため事業場立入	12:00 昼休み	13:00 立入日報の作成	14:00 事業者から届出内容について相談	15:00 届出の審査	16:00 次の事業場立入のための資料確認	17:15 業務終了
----------------------	----------------------	--------------	------------------	--------------------------	----------------	--------------------------	---------------

### ◎福井県職員を志望した理由

私は福井県職員になる前に、約5年間水処理関係の仕事を経験し、この時に環境行政に携わる公務員の仕事について興味を持ちました。大学で学んだ化学の知識を生かせる仕事であることに加え、幅広い配属先の中でどの部署に配属されたとしても、やりがいをもって仕事に取り組めると感じ、福井県職員を選択しました。

### ◎仕事をはじめて感じていること

化学の知識だけでなく、行政法などこれまで専門として学んできたこと以外の知識を必要とする機会が多くあります。新しいことを学ぶのは大変な面もありますが、自身が成長できる機会を得られていると感じています。

### ◎魅力・やりがい

環境行政の最前線であり、公害防止関係法令の規制を工場・事業場が遵守するための取り組みを確認し、県民の生活環境の向上に寄与しています。現場が近く、県民の生活環境を守るという仕事の意義を実感しやすいことも魅力の一つです。

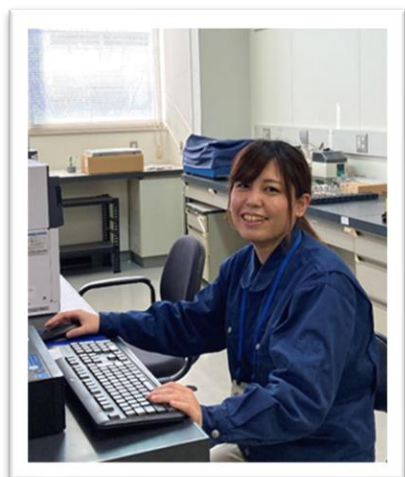
### ◎採用試験対策

面接では等身大の自分について自分の言葉で説明することを心掛けました。面接のあり方は面接官によってさまざまと思いますが、私の面接では面接官の方は受験者が緊張せずに話せる雰囲気づくりに努めてくださいました。自身が面接官に伝えたいことをしっかり整理して面接に臨むことが大切だと思います。

### ◎後輩たちへ一言

県職員の配属先は幅広く、配属先ごとに新しく学ぶべきことが多くあります。大変な面もあるかもしれませんが、自身が成長できる機会を多くいただける仕事でもあります。私自身は日々の職務を通じて、日々成長を実感しています。ぜひ県職員の仕事に興味を持っていただけたら幸いです。

## 【化学】平成26年度採用



## 工業技術センター

## 峠 知矢子

(静岡県立大学 薬学部薬科学科 卒業)



### 【主な担当業務】

- 技術支援業務として、化学分析に関する技術相談への対応や依頼試験
- 研究業務として、微生物センサの開発

### ◎ある一日のスケジュール

8:30 業務開始、メールチェック、グループで一日の業務の確認	9:00 機器使用対応 (装置準備、相談対応)	9:30 研究業務 (実験)	12:00 昼休み	13:00 機器使用対応 (装置準備、相談対応)	14:00 研究業務 (実験、データ処理、資料作成)	16:00 研究打合せ	17:15 業務終了
------------------------------------	-------------------------------	----------------------	--------------	--------------------------------	----------------------------------	----------------	---------------

### ◎福井県職員を志望した理由

私は福井県外の大学へ進学していましたが、当時、就職を考えるにあたって、**地元であり、実家のある福井県に戻って働きたい**と思いを強く持ちました。大学で学んだ化学の知識を活かせる就職先を探す中で、福井県に化学職の採用があることを知り、福井県職員（化学職）の採用試験を受験しました。

### ◎仕事をはじめて感じていること

工業技術センターでの有機分析関連の技術相談対応や依頼試験等の技術支援業務において、自分が学んだ技術や知識が、ある企業においては大きく役に立つこともあり、**工業技術センターは技術開発やトラブル対応での困りごとを相談する機関として、なくてはならない存在**であると感じています。また、一緒に働いている上司や先輩のこれまでの経験や専門的な知識が県内企業の役に立っているのを見ると、私も上司や先輩のようにさらに経験や知識を積んでいかなければと思います。

### ◎魅力・やりがい

工業技術センターでは、これまでに学んだ知識や技術だけでなく、**日々の業務の中で、新しく得た知識や技術が、直接的に県内企業の役に立ちます**。業務の中で自分が成長し、それが企業の役に立つことが魅力の仕事です。

### ◎採用試験対策

教養科目は、**市販の問題集を繰り返し解く方法で勉強**しました。専門科目は、「化学」に関わる幅広い分野が出題されていましたが、大学にて勉強している内容であったため、まずは**市販の問題集で出題傾向をつかみ、忘れていた分野を専門書で復習**しました。

### ◎後輩たちへ一言

化学職には、県内企業の技術開発を支援する仕事があります。**技術支援や共同研究、補助金事業など様々な方面で、様々な企業と関わり、福井県のものづくり産業の振興に携わることができる魅力的な職業**だと思います。